

Challenge Road



学校法人 トヨタ名古屋整備学園

専門学校 トヨタ名古屋自動車大学校

URL <http://www.toyota-tcn.ac.jp> E-mail dosokai@toyota-tcn.ac.jp

〒452-8567 愛知県清須市春日一番割1番地

TEL : 052-400-3611 FAX : 052-400-3615

発行責任者 和田孝二



Vol.26



目次 Contents

RALLY三河湾
オープンクラス完走! 1

同窓生Close up! 2~4

ネットヨタ福岡株式会社
執行役員 サービス部長

井元 健徳さん

株式会社モアザン

山根 健太郎さん

ウエイストヨタ神奈川株式会社

ワークビット横浜 勝俣 沙那恵さん

株式会社ダッド

ファム ドウツク タン ホアさん

ネットヨタ山陽株式会社

ラトナーヤカ ムディヤンゼーラゲ

チャーナン シャーヌカさん

学校長ご紹介 5

先生now 5

令和5年度トピックス 5・6

各種ご案内 6

作業手法改善や練習の積み重ねでチームが大きく成長!

2024年3月1~3日、全日本ラリー選手権第1戦「RALLY三河湾」のオープンクラスに教員ドライバー、学生コドライバー、学生メカニックの体制で参戦し、完走することができました!このラリーではSS(競技区間)が2日間で14カ所、合計80.52kmと普段参戦しているTGRラリーチャレンジの約10倍の距離を走り切ります。車両にかかる負担も大きく、競技中4回行われるサービス(点検整備)は重要なポイントとなります。そのため、学生達は当日に向けて情報収集を行い、作業手法の改善や練習を前日まで積み重ねていきました。

大会初日はレッキ(下見走行)、車検、セレモニアルスタートを行い、2日目から競技が始まります。2日目午前中のSSで停止車両を避けた際にサイドターンを破損するトラブルがありましたが、メカニックとの連携によりすぐに部品調達を行い、昼のサービスで修理を実施し、午後からの競技に無事復帰しました。その後も学生コドライバー、学生メカニックの活躍もあり安定した走行を続け、2日間全てのSSを走り切ることができました。今回のラリーでは、他チームとの交流や準備、改善を通じてチームとして大きく成長できたと感じています。今後もモータースポーツクラブの応援をよろしくお願いします。

クローズアップ! Close up! 同窓生

様々な分野で活躍する同窓生の皆様をご紹介します。



井元さん2列目左から4番目。
サービス本部の皆さんと一緒に

ネットヨタ福岡株式会社 執行役員 サービス部長

Takenori Inomoto

井元 健徳さん (1991年度 自動車整備科卒)

技術コンクール出場をきっかけに技術トレーナーへ
今は技術に心を加える大切さを伝え後進を育成

Q. 入学の動機と学生時代の思い出を教えてください。

A. 高校時代は船舶関係の学校でしたが、しだいに自分は船に向いていないと思うようになりました。しかし、機械いじりは好きだったので、卒業後の進路を探すうちに本校を知り、車の整備をやりたいとの気持ちから本校を受験しました。当時は自動車整備に対して具体的な夢は持っておらず、機械を整備する仕事に就けたらいいかと、将来について漠然と考えていました。

Q. 本校での授業や学習環境はいかがでしたか。

A. 私が入学した時は、校舎が清洲から春日(いずれも現清須市)へ移転した年で、できたばかりの真新しい校舎で学ぶことができました。清洲の旧校舎敷地内にある寮から約4km、田んぼを見ながら自転車を通ったことも案外いい思い出です。校舎だけでなく設備や教材などすべてが整っており、本校の環境の素晴らしさに心躍ったことを鮮明に覚えています。

Q. 本校で学んだことで、今でも役に立っていることはありますか。

A. 授業が終わり帰ると数時間かけてレポートを書くという毎日でした。車の知識もなくわからないことばかりでしたが、夜遅くなっても必死で仕組みや原理を考え、自分が理解できるようにレポートにしていました。わからないことに対して自分が理解できるまで考えるということが、この時期に少しできるようになった気がします。その考え方は今でも役に立っていると思います。

Q. 現在の主な仕事内容は何ですか。

A. 当社のサービス部門で部長をさせていただいております。私は過去、トヨタの技術コンクールに出場しま

したが、結果を出せませんでした。本当に悔しかったので、今度は後輩の誰かに結果を出してもらいたいと思い、社内の技術教育を担当し、後進の育成に全力で取り組みました。今でもその時の思いが残っています。高い技術力とお客様を思う心の両方を併せ持ったエンジニアを育成することで、お客様に信頼していただけるサービス部門を目指しています。

Q. 在学生や新社会人の皆さんへのメッセージをお願いします。

A. 本校の充実した環境に身をおき、全力でいろいろなことに取り組み学べるからこそ、学生としての時間は貴重であつという間ではないかと思います。いつか本校での貴重な経験を活かすチャンスが誰にでも来ますので、新たな環境へ移った時も、本校で学んだことを誇りに自分を信じて突き進んでほしいと思います。



クローズアップ! Close up! 同窓生

様々な分野で活躍する同窓生の皆様をご紹介します。

輸入車からレースカーまで幅広く扱えるのは 学校での知識や技術が活かされているから

Q. 現在はどうなお仕事をされていますか。

A. 主に、輸入車の修理やメンテナンス、モータースポーツに出場する車の調整などを行っています。学校卒業後からモータースポーツを手がける会社に入社し、整備の技術を磨いてきました。

Q. 今のお仕事に役立っていることは何ですか。

A. カーレースが好きで入学しましたが、当時は車の構造やパーツの機能などにはあまり詳しくありませんでした。学校では整備の基礎をしっかりと学べたので、いろいろな車を扱う中でその知識や技術が役立っています。

Q. 今年は母校のオープンキャンパスにも参加されたようですが、学生の反応はいかがでしたか。

A. 多くの学生に興味を持ってもらえて、いろいろな質問を受けました。整備のことよりも車に関する質問が多かったですね。

Q. 在学生や新社会人の皆さんへのメッセージをお願いします。

A. 自動車の世界は幅広く、いろいろな方向性があります。さまざまな分野で知識や技術を吸収して、自分の好きな道を進んでもらいたいと思います。



株式会社モアザン
山根 健太郎さん
Kentaro Yamane (2011年度 自動車整備科卒)

父親の働く姿を見て入学を決心 学校で将来の自分をイメージできました

Q. 本校に入学された動機は何ですか。

A. 実家が整備工場で、小さい頃から父親の仕事を見ていたので、将来は自分で車を修理できるようになりたいと思っていました。入学時は整備以外に何を学ぶのか想像もつかなかったのですが、お客様に対する信頼と安心感を与えるための接客マナー、所作や細やかな気配りが大切であることを学べて、自分が働くイメージができてきました。

Q. 今の職場ではどうなお仕事をされていますか。

A. 職場は日本でも数少ない商用車専門店で、お客様のご要望に応じて架装やパーツのオーダーをしたり、見積もりを作成したりしています。整備の知識もそうですが、接客や電話応対など学校で学んだことが今に活かされていると感じます。

Q. 在学生や新社会人の皆さんへのメッセージをお願いします。

A. 女性でも自動車業界でいろいろ活躍できる場があります。まずは自分の役割や仕事を一生懸命こなすことが大切です。その中からたくさんの学びがあります。



ウエイストヨタ神奈川株式会社
ワークピット横浜
勝俣 沙那恵さん

Sanae Katsumata (2013年度 女性ショールームスタッフ科卒)



勝俣さん前列左から2番目
2024東京オートサロンにて仲間と一緒に

クローズアップ! Close up! 同窓生

様々な分野で活躍する同窓生の皆様をご紹介します。

日本の自動車技術を学ぶために入学 今は自動車の未来に携わっています

Q. 本校に入学された動機は何ですか。

A. 小さい頃から車が好きで、自動車技術を学びたかったので、ベトナムから日本に来ました。特に日本車のオートマチックなシステムについて興味があり、ベトナムにいた頃に学校の先生から紹介されたので、入学を決めました。

Q. 今の職場ではどのようなお仕事をされていますか。

A. 会社は自動車の設計やシステム開発を行っており、その中で私は車両システムの配線図を作成しています。分からない点も気軽に相談できる職場環境なので、仕事に対する意欲が湧きます。

Q. 在学生や新社会人の皆さんへのメッセージをお願いします。

A. 失敗しても、くじけずにどんどんチャレンジしましょう。その方が多くのことを学べますし、成長するスピードも上がります。



写真右と一緒に写っているのは、本校の先輩(2016年度 高度自動車科卒)花岡佑樹さんです。



株式会社ダッド
ファム ドウック タン ホアさん
(2022年度 自動車整備科卒)



ネットトヨタ山陽株式会社

ラトナーヤカ ムディヤンゼーラゲ
チャー シャーヌカさん

(2022年度 国際自動車整備科卒)

将来は日本で会社を作りたい 好きな仕事を通してただいま勉強中です

Q. 本校に入学された動機は何ですか。

A. 子どもの頃から車に憧れていて、(私の出身の)スリランカはトヨタ車が多く走っていたので、自動車技術を学ぶなら日本だと思い、本校に入学しました。事前に日本語を勉強しましたが、国際自動車整備科なので、入学後にも日本語を学べて、整備に関する授業内容は理解できました。友だちも多くでき、とても楽しい学生時代でした。

Q. 今の職場ではどのようなお仕事をされていますか。

A. 板金・塗装が主な業務です。形状が複雑で難しいと思う時もありますが、仕事自体は好きで、先輩たちもいろいろ教えてくれますので、楽しく過ごしています。

Q. 在学生や新社会人の皆さんへのメッセージをお願いします。

A. 私はいつか自分の会社を作りたいと頑張っています。自動車業界では多くの外国人が働いています。好きな仕事を通して自分を磨いてください。



前列中央にチャーさん。BPセンタースタッフと一緒に





2024年6月 鈴木二郎校長が就任

永田透校長の後任として、新たに鈴木二郎校長が就任いたしました。

鈴木校長は、トヨタ自動車株式会社において主に中国、インドなど、海外のサービス体制づくりやお客様関連部を担当されていました。

2019年にトヨタ神戸自動車大学校に赴任し、2020年から神戸校の校長を務められ、今年の6月より名古屋校の校長に就任いたしました。

先生 now!

トヨタ名古屋自動車大学校の先生をご紹介します。

国際化推進室 担当

竹内 光宏先生



皆さま、お変わりありませんか？

私は変わらず元気で過ごしております。とは言え、気付けば年齢62歳、体力的な衰えが随せなくなりました。現在は母校で「留学生募集」の業務をしております。まだまだ勉強途上ですが、彼らと真摯に向き合えば、言葉や文化の違いを乗り越えることができ、やりがいを感じます。また、プライベートではおいしいものを求めて食べ歩きすることが多く、直近2年で5kg増の体重が一番の悩みです(笑)。

2023

令和5年度トピックス

TOPICS

入学式

4月11日に入学式が執り行われました。高度自動車科127名、自動車整備科131名、ショールームスタッフ科13名、車体整備研究科6名、車体整備専攻科22名、国際自動車整備科29名の新入学生を迎えることができました。なお、ショールームスタッフ科は最後の入学式となりました。



スーパーGTメカニック体験



6月と8月の2回、鈴鹿サーキットで開催されたスーパーGT第3戦と第5戦に、トムス、セルモ、apr、埼玉トヨペットの各チームに計20名の学生がメカニックとして体験参加しました。学生は緊張した現場の雰囲気を感じ、貴重な経験がすることができました。

第26回学園祭



10月28、29日に第26回学園祭を開催。2023年度のテーマは『IGNITION ON!』と題し、コロナ禍明けの学園祭として、ご父母、ご友人、販売会社様、OB・OGまで来場可能とし、久しぶりに盛大に開催しました。恒例の整備コンクールはもちろん、試乗会や学生フォーミュラのデモ走行、バンド演奏といった各種ステージイベントなどなど、コロナ禍前の盛況がよみがえった学園祭でした。

トヨタ3校整備コンテスト



11月12日に東京、神戸、名古屋各校の学生による『トヨタ3校整備コンテスト』が開催されました。各校3チーム(1チーム3名)の全9チーム中、名古屋校が1位、2位、6位と上位を占めました! 6位のチームも、3名全員が留学生ながら他校を抑え上出来の成績でした。

キャリア講演会



3月6日、卒業を控えた学生を対象に「先輩からの応援メッセージ」として、販売会社様から出向いただいている3名の先輩より校内各教室配信でメッセージを送っていただきました。また、同窓会長の村井様からもビデオメッセージでエールを送っていただきました。

卒業式



3月19日に卒業式が行われ、保護者に加え、内定先の販売会社様にも参加いただき、ほぼコロナ禍前に近い状態で執り行うことができました。高度自動車科93名、自動車整備科138名、ショールームスタッフ科11名、車体整備専攻科5名、車体整備専攻科22名、国際自動車整備科79名が無事卒業しました。卒業生の皆様のご活躍を、お祈りしています。

車体科、ショールームスタッフ科卒業研究発表会



2月13日に車体整備専攻科とショールームスタッフ科の学生による卒業研究発表会が開催されました。車体整備専攻科はレストアした1978年式のコロナマークIIの修復過程について報告し、ショールームスタッフ科は3つのチームがそれぞれのテーマで2年間学んだ知識を生かした発表を行いました。

教材車両寄贈



これまで十数年以上使用してきた教材車両のラクティス(1年次にブレーキ、サスペンション授業で使用)21台を、愛知、岐阜、三重、静岡のトヨタ系列の販売会社様のご協力(ご寄贈)の下、最新型のヤリスに更新しました。お陰様で、学生のモチベーションもさらに、アップすること間違いなしです。寄贈いただきました販売会社の皆様、改めましてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

「住所変更のご連絡」「就職応援窓口」

住所を変更された際のご連絡は以下の3方法からお願いいたします。
また、就職相談もこちらから可能です。困った時、相談したい時にもご連絡ください。

① 電話：052-400-3613(同窓会事務局) ② メール：ouen@toyota-tcn.ac.jp ③ LINE：QRコードから登録



退職された先生

教育部 大前 宏貴 先生、お疲れ様でした。

ナゴタイムズYoutube

当校のYouTubeチャンネル「ナゴタイムズ」です。
ぜひ見てください!



ご感想・投稿記事などございましたら、ご連絡ください

同窓会紹介 入学希望者をご紹介します。

受験者	受験者氏名	
	受験者出身校	

紹介者	紹介者氏名	
	卒業学科・卒業年	科 年
	紹介者住所	〒

この紹介書をコピーして入学願書に同封いただくか同窓会事務局までお送りください。

「同窓会親族優遇制度」、「同窓会受験生紹介制度」につきましては、当校ホームページあるいは、学生募集要項2025年4月入学生用をご参照ください。